

出張講義

公共
経営

若者の社会的孤立:地域社会にできること

担当教員:倉田 良樹 教授

2019年に起きた京都アニメーションの放火事件では、マスコミ報道によって社会から孤立した犯人の「異常な」生活ぶりが強調され、「引きこもりバッシング」のような論調も目立つようになりました。他方、国の行政も長期にわたって失業 状態にあって社会から孤立した若者を対象として、就職を支援したり、社会参加を後押しする政策を展開していますが、必ずしも大きな成果は上がっていない現状です。この授業では、若者の社会的孤立という問題に対して、地域社会にできることは何であるのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

- 受講人数の目安:40人程度
- 所要時間の目安:50分
- 高校でご準備いただきたいもの:プロジェクト